

地域研究講座 2026



和賀大乗神楽「荒神」

奥州市では、地域の歴史や文化に関する調査研究が進められ、その成果から地域社会の特徴や先人たちの歩みが少しずつ明らかになってきました。これらの成果は、私たちにとって身近な過去を見つめ直す手がかりであると同時に、奥州市の未来を考えるうえで大切な材料ともなります。

本講座は、こうした地域史に関わる多様な史資料や研究成果を広く「公開」「発信」「共有」することを目的に開催するものです。総合資料学的な視点を踏まえながら、奥州市および胆江地方の文化をあらためて見つめ直し、新たな知識や気づきを得る機会にしたいと考えています。

第1回 「みちのく近現代史クロニクル」

令和8年1月18日（日）午後1時～午後4時

第2回 「中近世の岩城氏・猪狩氏と仙台藩の御預給主」

令和8年2月15日（日）午後1時～午後4時

第3回 「民俗芸能が紡ぐ祈りの系譜」

令和8年3月15日（日）午後1時～午後4時

会場…えさし郷土文化館（奥州市江刺岩谷堂字小名丸102-1）

定員…各回 40名（事前申し込み）

聴講料…各回 400円（資料代・入館料込）

申込先…えさし郷土文化館（電話・webフォームにて受付）

電話 0197-31-1600

<https://www.esashi-iwate.gr.jp/bunka/>

◎オンライン配信あり（申込不要）

えさし郷土文化館公式YouTubeチャンネルにて無料で配信します。
<https://youtube.com/channel/UC6q65OBAjFnccwYRT4bYHmA?si=kzVpvVvQ-jvL5YCK>

協 催…奥州市教育委員会 えさし郷土文化館
共主 催…科学研究費助成事業

- ・学術変革領域研究（A）25H01239 「歴史情報学のための新たな歴史資料目録モデル構築」
- ・基盤研究（C）23K00807 「地方知行制下の藩領における在郷武士と相給村落に関する研究」
- ・令和7年度国立歴史民俗博物館日本歴史文化知奨励研究
・産学官連携に基づく地域資料継承支援事業
- ・「地域史研究者による歴史資料・データの収集活動に関する研究」
- ・国立歴史民俗博物館メタ資料学研究センター 合同会社AMANE



第1回 「みちのく近現代史クロニクル」 令和8年1月18日(日) 13:00~16:00

発表I 岩手からブラジルに渡ったひとびと
東北大学大学院法学研究科 教授 伏見岳人 氏

発表II 柳田國男のまなざし
一関市民俗資料館 主任学芸員 高橋 紘 氏

発表III 朝鮮総督府の文化政策
奥州市地域文化研究所 研究主幹 宮本升平 氏

報告 奥州市資料調査報告—2025年度近現代分—
奥州市教育委員会事務局歴史遺産課 主任学芸員 高橋和孝 学芸員 羽柴南枝
合同会社 AMANE

討議 ローカルとグローバルの交点—奥州市と海外交流の実態—

第2回 「中近世の岩城氏・猪狩氏と仙台藩の御預給主」 令和8年2月15日(日) 13:00~16:00

発表I 戦国時代の岩城氏権力と猪狩氏—檜葉郡から胆江地方へ—
石巻市博物館 主任学芸員 泉田邦彦 氏

発表II 由緒をめぐる岩谷堂給主十一家の葛藤
東北大学東北アジア研究センター 学術研究員 鈴木淳世 氏

発表III 猪狩家文書からみる岩谷堂給主仲間
福井大学学術研究院教育・人文社会系部門 教員養成領域 准教授 藤方博之 氏

報告 奥州市資料調査報告—2025年度近世分—
えさし郷土文化館 課長兼任学芸員 野坂晃平
奥州市教育委員会事務局歴史遺産課 主任学芸員 高橋和孝
合同会社 AMANE

討議 戦国時代から脈々と続くコミュニティ—継続力の秘密とは—

第3回 「民俗芸能が紡ぐ祈りの系譜」 令和8年3月15日(日) 13:00~16:00

発表I 和賀大乗神楽を取り巻く人、もの、環境
和賀大乗神楽保存会 法印 鈴木智大 氏

発表II 百鹿繚乱 鼓動は祈りを超えてゆく—江刺鹿踊「百鹿大群舞」創立40周年事業を終えて—
奥州市教育委員会事務局歴史遺産課 学芸員 羽柴南枝

発表III 境界を越える芸能—移動と交流が生んだシシ踊りのダイナミズム—
えさし郷土文化館 課長兼任学芸員 野坂晃平

発表IV 神楽とおまじない
岩手県立博物館 学芸員 川向富貴子 氏

討議 祈りと異界のあわいで—地域に息づく呪術的世界観—